

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年12月13日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期（自平成29年8月1日至平成29年10月31日）
【会社名】	株式会社 光・彩 （旧会社名 株式会社光彩工藝）
【英訳名】	Kohsai Co.,Ltd. （旧英訳名 KOSAIKOGEI CO.,LTD.）
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深沢 栄二
【本店の所在の場所】	山梨県甲斐市竜地3049番地
【電話番号】	0551-28-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	社長室 室長 吉田 貴
【最寄りの連絡場所】	山梨県甲斐市竜地3049番地
【電話番号】	0551-28-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	社長室 室長 吉田 貴
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）平成29年4月27日開催の第50回定時株主総会の決議に基づき、平成29年8月21日より会社名を上記のとおり変更いたしました。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期 累計期間	第51期 第3四半期 累計期間	第50期
会計期間	自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日	自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日	自 平成28年2月1日 至 平成29年1月31日
売上高 (千円)	1,490,995	1,572,834	1,979,900
経常利益 (千円)	36,941	34,812	58,499
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)	32,420	34,517	51,029
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	602,150	602,150	602,150
発行済株式総数 (株)	3,960,000	396,000	3,960,000
純資産額 (千円)	1,148,851	1,119,218	1,167,369
総資産額 (千円)	1,829,212	1,919,146	1,859,223
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( ) (円)	86.57	92.20	136.26
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	4.00
自己資本比率 (%)	62.8	58.3	62.8

回次	第50期 第3四半期 会計期間	第51期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日	自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	28.19	110.58

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4. 第50期第3四半期累計期間及び第50期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第51期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 平成29年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、政府による大型経済政策や日銀による金融緩和政策等を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済は、米国や欧州において景気回復が続いているものの、アジアにおける地政学的なリスクの高まりなどもあり、全般として先行きは予断を許さない状況となっております。当業界におきましても、市場環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社におきましては、経理部門責任者による不正行為が発覚したことにより、不正行為の真相究明、過年度の決算訂正および再発防止策の策定、実行を進めてまいりました。引き続き全社一丸となり管理体制等の改革・刷新に取り組んでおります。

一方、新規販路の開拓、特許性商品の開発、独自技術による商品開発、短納期化、品質改善など一連の事業改革の効果により、売上が増加いたしました。費用面におきましては、商号変更、50周年記念事業の対応、また、最大需要期である下半期での受注増加を見込むなか、生産要員の増員を積極的に進めてきたことなどにより大幅に増加いたしました。更に、上記不正行為への対応のため、監査法人への監査報酬、内部調査委員会への報酬等が発生したことにより、多額な特別損失を計上するに至りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,572百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益36百万円（前年同期比23.7%減）、経常利益34百万円（前年同期比5.8%減）、四半期純損失34百万円（前年同期は32百万円の四半期純利益）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ59百万円増の1,919百万円となりました。主な変動は、現金及び預金の減少161百万円、長期未収入金の減少121百万円、受取手形及び売掛金の増加65百万円、たな卸資産の増加48百万円、有形固定資産の増加19百万円、投資その他の資産のその他に含まれる投資不動産の増加163百万円等によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ108百万円増の799百万円となりました。主な変動は、長期借入金の減少26百万円、支払手形及び買掛金の増加71百万円等によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ48百万円減の1,119百万円となりました。主な変動は、利益剰余金の減少49百万円等によるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,584,000
計	1,584,000

(注) 平成29年4月27日開催の第50回定時株主総会決議により、平成29年8月1日付で10株を1株にする株式併合及び定款変更が行われ、発行可能株式総数は11,416,000株減少し、1,584,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成29年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年12月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	396,000	396,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 100株であります。
計	396,000	396,000	-	-

(注) 平成29年4月27日開催の第50回定時株主総会決議により、平成29年8月1日付で10株を1株にする株式併合及び定款変更が行われ、発行済株式総数は3,564,000株減少し、396,000株となり、単元株式数は1,000株から100株に変更となっております。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成29年8月1日 (注)	3,564	396	-	602,150	-	409,290

(注) 平成29年4月27日開催の第50回定時株主総会決議により、平成29年8月1日付で10株を1株にする株式併合及び定款変更が行われ、発行済株式総数は3,564,000株減少し、396,000株となっております。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年7月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 216,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,733,000	3,733	-
単元未満株式	普通株式 11,000	-	-
発行済株式総数	3,960,000	-	-
総株主の議決権	-	3,733	-

(注) 平成29年4月27日開催の第50回定時株主総会決議により、平成29年8月1日付で10株を1株にする株式併合及び定款変更が行われ、発行済株式総数は3,564,000株減少し、396,000株となり、単元株式数は1,000株から100株に変更となっております。

【自己株式等】

平成29年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社光・彩	山梨県甲斐市 竜地3049番地	216,000	-	216,000	5.45
計	-	216,000	-	216,000	5.45

(注) 1. 平成29年4月27日開催の第50回定時株主総会決議により、平成29年8月1日付で10株を1株にする株式併合及び定款変更が行われ、単元株式数は1,000株から100株に変更となっております。

2. 当社は平成29年8月21日付で株式会社光彩工芸から株式会社光・彩に商号変更しております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成29年8月1日から平成29年10月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成29年2月1日から平成29年10月31日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人ナカチによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	682,367	520,375
受取手形及び売掛金	236,888	302,753
たな卸資産	395,052	443,240
その他	10,036	48,932
貸倒引当金	8,388	11,883
流動資産合計	1,315,956	1,303,418
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	277,477	296,735
無形固定資産	13,103	17,491
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	26,843	28,565
長期未収入金	322,351	201,113
その他	154,761	322,842
貸倒引当金	251,274	251,019
投資その他の資産合計	252,684	301,501
固定資産合計	543,266	615,728
資産合計	1,859,223	1,919,146
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	102,516	174,120
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	35,208	35,208
未払法人税等	33,959	31,154
その他	87,884	144,468
流動負債合計	579,568	704,951
<b>固定負債</b>		
長期借入金	63,680	37,274
役員退職慰労引当金	23,041	24,916
退職給付引当金	23,430	25,132
その他	2,133	7,654
固定負債合計	112,285	94,977
負債合計	691,853	799,928
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	82,408	32,916
自己株式	30,847	30,847
株主資本合計	1,163,001	1,113,509
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	4,368	5,709
評価・換算差額等合計	4,368	5,709
純資産合計	1,167,369	1,119,218
負債純資産合計	1,859,223	1,919,146

(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	1,490,995	1,572,834
売上原価	1,218,377	1,278,454
売上総利益	272,616	294,379
販売費及び一般管理費	224,595	257,744
営業利益	48,020	36,634
営業外収益		
受取配当金	445	376
受取地代家賃	1,236	1,220
為替差益	-	1,469
雑収入	1,153	1,342
営業外収益合計	2,836	4,407
営業外費用		
支払利息	2,213	2,057
貸倒引当金繰入額	4,006	-
為替差損	7,694	-
支払補償費	-	3,000
その他	-	1,172
営業外費用合計	13,914	6,230
経常利益	36,941	34,812
特別利益		
固定資産売却益	-	92
貸倒引当金戻入額	-	254
物品売却益	2,555	-
特別利益合計	2,555	347
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	-	67,100
特別損失合計	-	67,100
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	39,496	31,940
法人税、住民税及び事業税	7,076	2,577
法人税等合計	7,076	2,577
四半期純利益又は四半期純損失( )	32,420	34,517

【注記事項】

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(四半期貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年10月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの 総額	700,000千円	700,000千円
借入実行残高	320,000	320,000
差引額	380,000	380,000

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
減価償却費	20,712千円	21,183千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成28年2月1日至平成28年10月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年4月26日 定時株主総会	普通株式	14,980	4.0	平成28年1月31日	平成28年4月27日	利益剰余金

当第3四半期累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年4月27日 定時株主総会	普通株式	14,974	4.0	平成29年1月31日	平成29年4月28日	利益剰余金

(注)平成29年8月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式併合前の金額を記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	86円57銭	92円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	32,420	34,517
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	32,420	34,517
普通株式の期中平均株式数(株)	374,506	374,371

- (注) 1. 前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 平成29年8月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年12月13日

株式会社光・彩

取締役会 御中

### 監査法人ナカチ

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 藤代 孝久 印

業務執行社員 公認会計士 家富 義則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社光・彩（旧会社名 株式会社光彩工芸）の平成29年2月1日から平成30年1月31日までの第51期事業年度の第3四半期会計期間（平成29年8月1日から平成29年10月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成29年2月1日から平成29年10月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社光・彩（旧会社名 株式会社光彩工芸）の平成29年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

会社の平成29年1月31日をもって終了した前事業年度の第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間に係る四半期財務諸表並びに前事業年度の財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期財務諸表に対して平成29年10月16日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該財務諸表に対して平成29年10月16日付けで無限定適正意見を表明している。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。